

事務事業評価シート 令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業名		33000	消防施設整備事業	予算科目	会計	款	項	目	所管課	消防本部	担当班	警防課
施策体系	基本施策	30	消防力の強化	根拠法令	消防法第20条	水道法第24条第1項						
	施策の展開	58	常備消防体制の充実	戦略事業	257	消防水利の整備						
	施策の展開			戦略事業								
										事業種別	☒ 主な事業 ☒ 国土強靱化地域計画 ☒ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☒ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで		・老朽化した金網張り防火水槽の金網を、撤去要望等が無ければ新しいものに張り替える。また、既存の屋根付防火水槽の屋根の破損や、防火水槽が漏水し消防水利として水量を確保できないものを修理し、危険のない使用可能な状態にする事業。 ・防火水槽用地を借りて設置されている防火水槽が、地権者から用地返却を求められた際、撤去要望書を提出してもらい土砂等で埋戻し現状回復を行う事業。 ・住民からの設置要望や旭市消防力整備指針の計画にあわせ毎年度耐震性貯水槽の設置を整備計画する。 ・旭市総合戦略の策定もあり、市民の生命、身体及び財産の保護のため、火災等の災害に備え計画的に消火栓を設置する。また市内に設置されている消火栓が常に良好な状態で使用できるように、腐食したボルト等の交換を行い、安全な消防活動ができるように維持管理する。		・近年住民の防災意識が高まっているなかで、老朽化した防火水槽の改修要望が多くなっている。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化			
・住民の転落事故等防止のため始まった。 ・地権者から土地の返却を求められたことから始まった。 ・上水道整備事業開始に伴い、計画的に消火栓を設置し迅速な消火活動ができるよう各計画に組み込んで実施している。また、安全、確実な消火活動を確保するため、ボルト等が腐食した消火栓を修理する必要があるため。		・年数が経過した防火水槽の破損により、金網の張替えや屋根の改修件数が多くなっている。 ・突発的な撤去要望が多く、予算化されていない年度内の実施が難しいため、地権者の理解を得るために苦慮することが多い。 ・年数が経過した古い防火水槽は耐震性が無く漏水が多いため、防火水槽の入れ替えも検討したいが、厳しい財政状況下で、漏水箇所の目地埋めやシート張り等の一時しのぎな工事しかできない。			

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)		単位:千円
1.工事請負費(設置・改修)	5,298	設置・有蓋化改修等6箇所
2.工事請負費(解体・撤去)	4,092	解体・撤去6箇所
3.公有財産購入費		
4.負担金補助及び交付金	14,817	消火栓新設2基、購入1基、消火栓修繕28基
② 特定財源の内訳(1年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金		
2.都道府県支出金		
3.地方債		
4.その他		

費目内訳	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
1. 工事請負費(設置・改修)	千円	16,473	5,422	10,730	5,298	3,922
2. 工事請負費(解体・撤去)	千円	1,382	3,712	1,296	4,092	1,870
3. 公有財産購入費	千円	1,092				
4. 負担金補助及び交付金	千円	11,186	17,420	10,598	14,817	15,278
事業費計 (A)	千円	30,133	26,554	22,624	24,207	21,070
1. 国庫支出金	千円					
2. 都道府県支出金	千円					
3. 地方債	千円	9,900		5,100		
4. その他	千円					
5. 一般財源	千円	20,233	26,554	17,524	24,207	21,070

前年度増減理由	防火水槽については、設置工事をしなかったため減となった。消火栓については、水道課で元年度予定していた消火栓新設工事の早期終了に伴い、次の工事分の消火栓購入により増となった。
---------	--

従事職員数	常時 3 人	最大 人	× 日 = 延べ 人
-------	--------	------	------------

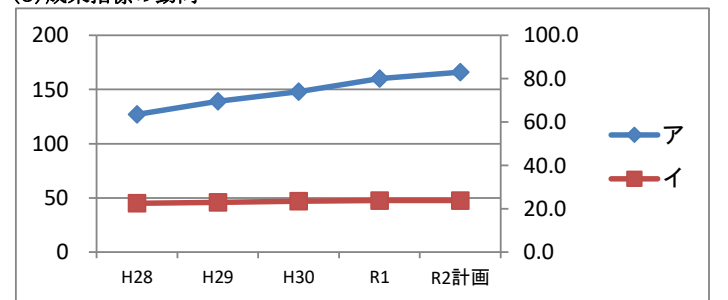
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動		➡	③ 活動指標名		28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動)			単位						
	・防火水槽の改修、撤去工事。 ・消火栓新設、標識設置等工事。			ア 防火水槽有蓋化・修理か所数 (井戸式消火栓含む)	か所	13	8	7	6	6
				イ 消火栓新規設置(上段)・修繕数(下段)	基	4 48	3 115	6 19	2 28	2 35
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		➡	④ 成果指標名		28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (計画)
				単位						
	表文	老朽化防火水槽		ア 有蓋化・改修工事・撤去工事の実施か所数(割合)(19年度～の工事件数)	か所	127	139	148	160	166
	図意	消火活動に必要な消防水利を確保する。また、人災による転落事故防止を図る。								
	表文	消火栓	イ 耐震性貯水槽の設置率	%	22.5	22.9	23.4	23.8	23.8	
	図意	安全な消火栓を維持管理し、確実な消防活動の実施を図る。								

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	大きい	成果向上余地	評価結果	①	コスト比率
		かなりある			下位 1/3
大きい	①	ある程度ある	(3)		中位 1/3
		ほとんどない			上位 1/3
普通					
小さい					

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)					27年度 28年度 29年度 30年度 1年度 2計画
	③ 今年度取組事項 (2年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他()	
		2年度中	防火水槽改修、撤去	令和2年度以降	有効水量のある老朽化防火水槽の延命化と地震対策を実施または、耐震性貯水槽に更新することを図る。	